

平成26年度門真市立公民館運営審議会 議事録

日 時	平成26年8月6日（水）午後2時00分～3時20分
場 所	門真市立公民館 2階 第一会議室
出席委員	西岡委員・大西委員・勝川委員・奥田委員・青木委員・宮本委員・下岡委員・柏木委員・安田委員
事務局	柴田生涯学習部長、牧菌生涯学習課長、東田生涯学習課長補佐兼公民館長兼文化会館長、阪口文化会館社会教育指導員、松田文化会館上席主査、淡路公民館社会教育指導員、橋本公民館上席主査

<東田課長補佐>

お待たせいたしました。定刻になりましたので、公民館運営審議会を開催いたします。平成26年7月に委嘱をさせていただいてからはじめての審議会となりますので、事務局より委員の皆様方を名簿順にご紹介をさせていただきます。次第が表紙となっている資料の1ページ目にございます、門真市立公民館運営審議会名簿をご覧ください。

大阪国際大学准教授の西岡委員でございます。
門真市立小中学校校長会代表大西委員でございます。
門真市文化協会代表勝川委員でございます。
門真市PTA協議会代表青木委員でございます。
門真市子ども会育成連合会代表奥田委員でございます。
文化会館サークル代表宮本委員でございます。
公民館サークル代表柏木委員でございます。
文化会館サークル代表下岡委員でございます。
公民館サークル代表安田委員でございます。

なお、事務局につきましては、資料の2ページに添付している座席表をご確認いただき、紹介を省略させていただきます。

それでは、開会にあたり生涯学習部長柴田より一言ご挨拶申し上げます。

<柴田部長>

生涯学習部の柴田でございます。委員の皆様にはお忙しい中、また一番暑い中、ご参集賜りましてありがとうございます。平素は公民館、文化会館運営にご協力を頂きまして重ねてお礼申し上げます。開会にあたりまして簡単ではございますがご挨拶申し上げます。

まず、封筒の中に冊子を入れさせて頂いていますが、教育委員会が3月に生涯学習推進基本計画を初めて策定させて頂きました。生涯学習とか社会教育と言う言葉を耳にされた事があると思うのですが社会教育法と言う法律はあるのですが生涯学習法と言う法律は実はありません。

生涯学習と言うのは文化、スポーツそれから、地域活動とか文化活動、ボランティア活動レクリエーションとか色んな活動があるのですが、それはみんな個人の自主的な意思に基づいてされる活動ですので、国が活動に対して規程・定義してしまうとその自由性をそこなのであえて生涯学習の法律はないのですがあえて理念が決められています。

その理念と言うのが先程申しました一人一人が生涯にわたって自発的な意思に基づいてする学習となっています。生涯学習と言うのは、生涯に渡る学習、生まれてから始まって死ぬまでののですが、家庭教育とか学校教育とか地域での教育とか社会に出てからの教育とか色々あるのですが、生涯にわたる学習を支える社会教育も学習を支える一つの仕組み、役割を果たしているものでございます。公民館、文化会館がそういう施設になるのですが、日頃こういう施設を使っている皆さんを中心としますと生涯学習施設と言えらると思いません。

公民館は、市民一人一人の自主的な文化教養の向上とか、健康増進のための施設であって、それを拠点として多くの市民の皆さんが学習しその成果を活かしてどんどん広げて市民に伝えていただいて、循環して頂く事が理想となっております。社会教育施設というのは、市民の皆さんの学習を支援する拠点となり、そして必要な環境整備ですとか、例えば講座、講習の開催によって皆さんが生涯学習に取り組むきっかけを作るとか、そういう事をしかけていくとか、利用されている色んな方のコラボによる新しい生涯学習につなげるための仕組み作りとか、人材活用やネットワーク作りが使命とされております。そういう視点で生涯学習推進基本計画を作ったのですが、具体的に計画というのは今申しました市民の方々の自由な取り組みに対して我々がどう対応していくのかまとめておまして、この本審議会の宮本委員も参画をして頂まして委員の皆様が実際に活動しているのをコラムとして紹介しておりますので非常に読みやすい計画となっております。お持ち帰り頂いてゆっくり目をとおして頂きたいと存じます。このように生涯学習施設であり社会教育施設でもある公民館・文化会館ですが、運営にはここにお越しの皆さんのように日頃からご利用頂いている各団体やボランティア、それと市との連携、学校、地域、家庭との連携協働というのが何よりも大事なのです。運営については、同じく生涯学習施設で門真市立門真市民プラザがございすが、あそこは2年前まで直営でやっていたが、今、民間の方に運営も含めてお願いするという形で指定管理者制度を取り入れているのですが、門真方式がありまして、その募集をする時に金額だけでなくこの施設をどういう風に運営してくれますかという事を選定委員会をもうけて選んでいます。その中の条件に、市内で活動されているNPOとか市民の団体と一緒に連携して何か事業をやして下さいという条件を入れさせて頂きました。その上で色々な審査をした結果、今、現在の指定管理者が運営をしています。変わった所と言えば、朝市を開催したり歴史史料の展示スペース物を喫茶とかイベントとかそこでやっているサークルの発表の場にするとか、色々活動の発表の場作りとかどんどん行われるようになりま

した。文化会館・公民館につきましても、市民の方々の生活スタイルの変化、市民の方々の公益活動、例えばNPOとか市民ボランティア団体それから文化活動団体の色々な活動の変化もありますし情報の情報化によるやり方も変わってくると思いますので既存の運営方法にとらわれない視点を変えた運営方法にチャレンジしていく必要もあるのではないかと考えております。今年度は、そういった意味で今ここに来ていただいた方々は、幅広い分野から参画して頂いておりますし、また公民館・文化会館を拠点に活動されている方もおられますので審議会といたしましても、今申しました運営方法について審議していただきたいと考えておりますので、またよろしくお祈いします。本日、公民館・文化会館のそれぞれの館から事業計画あるいは事業報告について取り組みを申し上げます。生涯学習推進、それを支える社会教育双方の推進を図るためのご意見を賜りますようよろしくお祈い申し上げます。

<東田課長補佐>

続きまして案件1、委員長、委員長代理選出を議題とします。委員長、委員長代理の選出は公民館運営審議会規程で委員の互選となっておりますが、いかがいたしましょうか

<柏木委員>

委員長に門真市文化協会代表の勝川委員を委員長代理者に文化会館サークル代表宮本委員を推薦いたします。

<東田課長補佐>

ありがとうございます。只今勝川委員を委員長に代理者を宮本委員にとのお声を頂きましたが、いかがいたしましょうか。

「異議なしの声あり」

という事で了承を頂きましたのでありがとうございます。それでは委員長に勝川委員、委員長代理に宮本委員と決定いたします。よろしくお祈いいたします。以後の進行は委員長の進行となっております。座席の移動をお願いします。

それでは、勝川委員長から就任にあたり一言ご挨拶をお願いします。

<勝川委員長>

只今、皆さんに推薦していただきまして委員長を受けさせていただきました勝川でございます。皆様の協力を賜りまして、公民館運営に尽力いたしますので皆様どうぞ宜しくおねがいします。

それでは案件2の平成25年度公民館事業について事務局より説明をお願いいたします。

<東田課長補佐>

それではこれより公民館及び文化会館各種事業につきまして担当者より説明したのち、今後発展的に評価する方法を検討する視点から各自から貴重なご意見を賜りますようよろしくお祈いします。

<淡路社会教育指導員>

公民館の社会指導員をやっています、淡路でございます。昨年度の事業につきまして今まで文章と言葉だけの説明だったので中々分かりにくいと思ひ昨年度の行事について映像を見て頂いて具体的にどういう風な事をやっているか説明させて頂きたいと思ひます。よろしくお願ひします。平成 25 年度の様子です。ひとつずつ説明させていただきます。

門真市立公民館に「日本語読み書き学級」という日本語教室があります。初めに門真市に日本語教室が出来たのは公民館です。二つ目の日本語教室はあとで説明させて頂きます、市民プラザにあります。一つ目に出来ました門真市日本語教室学級は 1996 年 4 月当時大阪府下より門真団地に転入の中国帰国者の急増にともない開設されました。色んな形で府下の八尾とかに中国からの帰国者が住まれるようになり門真市の小中学校にもたくさん子どもたちが来るようになりました。そこから色んな取り組みが始まったのですが、それまで門真市には日本語の教室というのがなかったのですが、その時を境に 1996 年「日本語読み書き学級」という名前で開設したわけです。同時に日本人の方にも色んな事情で学校に行けなかったとか、文字の読み書きを勉強したい方もきて頂いて勉強できるということで識字学級という機能も併せ持つという事で開催されております。対象は市在住、在勤の方で国籍は問いません。この公民館の日本語教室には保育がありますので主婦の方も子供を連れて参加して頂いて子どもを預けてその間に勉強できるシステムになっております。公民館の方は平日の 10 時～12 時の午前中です。もう 1 つ市民プラザの日本語教室ですが、2007 年から開設されました。仕事をしながら勉強したいということで夜の教室を希望するという声も多くなりましたので、門真市として 2 つ目の日本語教室を市民プラザの方にもう 1 つ作っております。24 年度まで、こちらの方で両方の日本語教室を管理していたのですが、25 年度から指定管理という事になりまして、独立して 1 つずつ日本語教室として運営していく形となりましたが、市の日本語教室としては 2 つあります。日本語教室ですけど、昨年日本に来ましたと言う人も来られます。10 年間住んでいるけれどもちゃんと日本語を勉強したいと言う方もおられました。能力に合わせまして 5 つのクラスに別けて日本語を教えるわけですが、昨年度は中国、台湾、ベトナム、スペイン、タイの生徒さんが常時 12～13 名来ていました。今年度は 4 月から始まっていますけれどもこれにインドネシア、ルーマニア、フィリピン、ブラジルの方が増えまして合計 9 カ国、今年度で 17 名が常時来て勉強しています。この様に日本語教室は色んな国の方が来られ、随時勉強したい方が来られましたら入学して勉強していく、それぞれの能力を聞いてクラス分けをして勉強をして頂くわけです。私たちの悩みの種はどうしても長続きしない事です。何ヶ月か通われたら来なくなったり 1～2 年たったらまた来られたりとそれぞれの事情がありますから、そういう方も受け入れております。それから市在住在勤というのを原則としておりますが、どうしても他市の方でもたくさん日本語教室を掛け持ちして勉強したい方がおられますので、他市から勉強したい方がおられる場合はできるだけ断らないようにして受け入れるようにしています。また、門真市にお住まいの方も他市の方に行って勉強される方もいますのでお互いの市で協力しあって受け入れる様に話を進めています。

次に、「60歳からの初めてのパソコン教室」12～13年前からですが、松原先生にお願いしずっとパソコン教室をやっています。どうしても高齢者の方がパソコンを始める時に「誰に聞いて良いかわからない。」それから孫に聞いたら「うるさい。」「PCに触るな。」と言われ色々困っている方、年をとってからパソコンを始めたい興味のある方が、沢山このパソコン教室を受けていかれました。基本的なパソコンの操作や文字の入力を覚えて頂いたらインターネットとか色々楽しみがありますので、そういうきっかけになれば、という事で始めています。

始めは4月から次の年の3月まで毎月7～8名を対象にしています。月に3回来て頂いてまた交代していくと言う形にしておりますが、初めの頃は4月から2月までずっと一杯の月があったのですが、この頃はお出来になる60歳以上の方も増えてきてまして今は5月の始めから9月、10月ぐらいで終わっています。「もっと勉強したいし、もっとやりたいのだけでもっと教えてもらえないか。」と言う要望がありまして、先生にお願いして更にスキルアップ講座と言う事で、10月に初めてのパソコン教室が終わりますので、再度申し込んで頂いて11月～2月にパソコン教室として開催していますが、希望が多くてすぐに一杯になります。

夏休み春休みにお楽しみ行事を組んでいます。「子どもクッキング」は子どもさんだけで公民館の料理教室を使ってメイン料理からデザートまで全部自分で作るという事で先生に来て頂いています。男の子もたくさん参加してくれますので小さい頃料理を自分でやり、栄養を色々考える事は非常に大事であります。毎回人気がありまして申し込みを始めたらずぐ締め切りになります。「子どもビーズ教室」は柏木委員にお願いしてご指導頂いています。こちらの作品ですけど、見ていただいたらわかる様に本格的なビーズで非常にきれいに出来ております。アクセサリ・ブレスレット・ブローチの作成を男女問わず体験してもらっています。「子ども手作りおもちゃ教室」、「親子体操教室」は幼児向けでお父さんお母さんと一緒に参加できます。

手作りおもちゃは、次世代交流アドバイザーと言う事で活動されている方が偶然「60歳以上のパソコン教室」に来られまして「パソコンを教えてください。」と言う事で「何故パソコンをしたいのですか。」と聞くと「子どもにいろいろ教えているのですが、写真に興味があってパソコンで写真を編集してやってみたいからです。」と言う事で来られたのです。良い人が来られたなと思いを願って「子ども達の講師になってもらえませんか。」と頼み毎回来てもらい、春と夏に2回やっています。

親子体操教室は集会室で体操を学ぶと言う事で運動の指導士の方がおられますので、子ども達に体操を教えています。体操だけではなく子どもの運動神経はどういう風に発達していくのか、子どもにも大人にも体の動かし方、股関節がもっと柔らかくなるにはという健康についての話もついでにして頂いて、これも好評であります。

あと「公民館いきいきライフ講座」として総合的にこういう名前をつけておりますけれど市民生活が豊かになりますように、趣味や教養を高める市民向けの講座をしています。最近はおたくさんの講習会をできれば費用をかけないでやっていきたいので、サークルの方や他の団体と共催して公民館を利用してやって頂く形をとらせてもらっています。夏休み「親子料理教室・なかよし料理教室」はシルバー人材センターと共催で公民館の料理教室を提供して

シルバー人材センターの方が料理教室を行う形式をとっています。これは当初お父さんのための料理教室と言う事で、男性向けの料理教室を行っていたのですが参加者が少なく、シルバー人材の男性会員の参加になってきましたので、市民の方に多く参加をして頂くために範囲を広げて親子でも夫婦でも、カップル参加ならOKと言うことで「なかよし料理教室」と名付けて料理教室を開催することに変更しました。

「押し絵講座」、「和紙ちぎり絵講習会」、「子ども向け手編み講習会」はサークルの先生方に協力して頂いて開催しています。

押し絵というのは日本古来の伝統工芸です。一番わかりやすいのは羽子板です。羽子板は立体的になって上から布をまいて中に芯を入れまして、でこぼこしてそういうのが押し絵となります。和紙ちぎり絵はうすい紙を色々重ね合わせていきます。どうしても干支飾りに人気がありますので、12月ぐらいに向けて講習しています。子ども手編み教室は手編みサークルの方をお願いしています。これは昨年度のクリスマスリースなのですが、これは毛糸でポンポンを作って台紙に貼ってサンタのシールを貼ってクリスマスリースを作っています。下の方はクッキーとキャンディーを毛糸で作るかばんにつけるアクセサリを作っています。手編みでこう言う作品を作っています。「大人の編み物講習会」ではポンチョ、マフラーを作りました。次に親子ふれあい事業で「わんぱくランド」をやっています。わんぱくランドは以前、年2回やっていましたが、昨年度より1回になりました。これはクリスマスに合わせて「作って遊ぼう！」と題して色んなものを作る講座を、こちらにおられる安田委員が子どものサークルの指導者をして頂いていますが、色んな指導者の方々に来てアイデアを出して頂いて本当に楽しく子どもと親が集まって物を作ったり、歌を歌ったり、ダンスをしたり、体操をしたり、1日で色んな体験ができて本当に楽しいプログラムです。

私の記憶にあるのは、子どもの職業体験で宅急便の人になろうと本物の宅急便のお父さんに来て頂いて、制服で帽子をかぶって実際にやって頂いて皆さん宅急便のお客さんになったりして現実味があって特に印象的でした。

次に「公民館まつり」はサークルの方々の発表会です。1年間どんな活動をしてきたかを発表する場として公民館まつりを開催しています。これが公民館で1番大きい行事になります。1日目はダンスパーティーです。公民館にはダンスサークルが5つありますが、その皆さんがダンスパーティーをします。ここのダンスサークルだけではなく市内でダンスをされている方、個人の方も参加して頂いています。2日目はカラオケパーティーです。公民館にはカラオケサークルが5つあります。その方達が集まって日頃の成果を発表されています。2日目、3日目は色んなサークルが活動中に作成した作品を展示する場としてこの2階の教室を使用し展示しています。3日目は集会室で舞台発表をします。フラダンス、詩吟、民踊、太鼓ありで色んな事を発表しております。ロビーでは作った小物やお料理を出店します。その時に販売した収益についてはサークル活動の収益として計上されます。

昨年度まで門真市の国際交流協会と公民館が共催で行っていましたがおしゃべりサロンと言うのがありました。国際交流協会と市民の国際交流の場を作りたいと始め、2010年から2013年の4年間続きました。初めは市民プラザにある日本語教室の生徒さんに参加して頂く事から始まりました。まず自分の国の事を話して頂き、いろんなつてをたどって色んな外

国の方が来てくださりその国の料理を作ったり、音楽を演奏していただいたり、ヨーロッパ映画祭の責任者の方が映画についてお話をしてくださったり日本にいて色々な国の文化にふれられる機会でした。反対に外国の方に日本の文化にふれていただく機会を作ったり、小さいお子さんから高齢者まで様々な年齢層の方に楽しんでいただける行事だったと思います。

今年度は国際交流協会が休会となりましたので、公民館事業としては開催されません。おしゃべりサロンでともに活動した外国人の方が引き続き門真で子ども達に英会話を教えたり活動がどんどんひろがっているのを見ると非常にうれしいなと思います。又こんな機会がもたれたらよいと思います。長くなりましたが以上です。

<勝川委員長>

これにつきましてご意見、ご質問などありましたら、皆様挙手をお願いします。今まで書類等で事例報告を聞かせていただきましたが、今回こう言う形で見せて頂きまして本当によく内容がわかりましたので、次回もこういう形でお願いしたいと思います。

<大西委員>

門真市内の義務教育の学校を預かる人間として感じるのは、門真は外国人にふれる事が非常に増えてきています。以前は在日の方がすごく多かったのですが、昨今は世界中から来られるという事があって前任校で経験したのですが、フィリピンから帰って来られて全く言葉がわからない子どもが編入してきて、下の子を幼稚園に入園させたく大変お困りだった保護者の方が学校に来られて、対応した事があります。それからは学校が多文化共生ではありませんけど、母国の言葉を大切にする事、それから日本で生活する上での生活言語、学習言語の習得とか言う部分で色々取り組みを進めています。

色々な取り組みの中で保護者の方にこれは伝えたいこととかあった時に学校の中にも自立支援通訳の方が月に2回は来てくれるのですが、その通訳の方と時間が合うとは限らないのです。そんな中で、社会教育の立場からこの様な日本の生活言語の取り組みをして頂ける事は意義のある事だと思います。学校教育を預かる者として、この部分は常に大きな課題となっていたのでこう言う取り組みをされている事を知ってすごく有難く思っています。

<勝川委員長>

何かございませんか。
無いようでしたら、次の案件に移らせて頂きます。
では次に案件3の平成26年度の公民館・文化会館事業計画について説明して頂きます。
資料4ページ目以降をご覧ください。

<橋本公民館上席主査>

では、本年度の公民館事業についてご説明をいたします。
公民館では市民のために実際の生活に則する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い

住民の教養の向上、健康の増進を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与しています。主な事業といたしましては、先程映像で見ていただいたと思いますが平成 26 年度も「日本語読み書き学級」「60 歳からはじめてのパソコン教室」「パソコンスキルアップ講座」「夏休み春休み子どもおたのしみ事業」「公民館まつり」などを計画して行っています。日本語読み書き学級につきましては、主に市在住、在勤の方を対象に 8 月、3 月を除いて毎週水曜日の午前中に 36 回開催を予定しています。現在は中国・タイ・ベトナム・フィリピン・インドネシア・台湾・ブラジル・スペインなど約 12 名が在籍しています。高齢者パソコン講習会は「ゆっくり学ぶはじめてのパソコン教室」を開催しています。高齢者にとってパソコンはやりたいが、なかなか教えてもらえないと言った現状がありますので、この講座はとても好評です。更により一層のパソコンの技術を身につけたいとの要望が寄せられたため、平成 25 年度より「パソコンスキルアップ講座」も開催されており今年もこの事業を引き続き開催しております。またふれあい交流事業の一環として子どもから高齢者を対象に公民館登録のサークルが活動したり、他団体と共催したり、多様な行事が出来るように取り組んでおり「いきいきライフ講座」「夏休み、春休みお楽しみ事業」「わんぱくランド」を開催しております。親子ふれあいの機会や父親の参加が多くなる事を願って、これらの事業に現在取り組んでおります。「公民館まつり」については、1 年間のサークル活動の発表の場として、また多くの市民の皆様との交流の場となるようにすべてのサークルが関わる形で取り組みをして参ります。以上が公民館の平成 26 年度事業計画予定です。続きまして文化会館の今年度の事業についてご説明いたします。

<松田文化会館上席主査>

文化会館の主な事業といたしましては、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため「定期講座事業」を行っております。

「管理運営事業」につきましては、サークル活動がスムーズに進むための連絡、支援、サークル連絡会の開催、毎月の作品展示、一日体験教室、サークル活動の成果発表と生涯学習や文化活動の楽しさを広く市民に周知する「ふれあいまつり」、図書自由閲覧等を行っております。

次に「定期講座事業」につきましては、高齢者生きがい事業として、スピーチの仕方、発音の仕方、有名作品の朗読・暗唱、体操などの学習活動を通じて、参加者の仲間意識と社会参加意欲の高揚を図る高齢者対象の生きがい教室「わくわく元気にリフレッシュ！」を 6～7 月に 4 回の連続講座として、地域ボランティア講師の協力で開催しています。また、学習活動を通じて、自分の生き方を問い直す「女性セミナー」では、健康問題に関わって病気のメカニズムと予防、体力増強、心身のストレス解消等の講座を 9～11 月に女性に限定せず、幅広く市民に呼びかけて行います。子育て支援交流事業では、門真市に在住する子どもたちと会館でサークル活動をしているさまざまな世代の方が、調理実習、紙工作、手芸、手品、理科実験教育なども体験学習を通して、交流を図り、相互理解の一助になる事を願い、夏休み、冬休みを中心に行います。

家庭教育学級では、主に就学前の子どもの発育や成長について、「ベビーマッサージ」の実習

や「アレルギーが起こるメカニズムとその予防」の学習（幼稚園出前講座）「絵本の読み聞かせや良書の紹介」（公開講座）などを通して、親の悩みや不安を少しでも取り除き、より良い家庭教育・親子関係のあり方を考える講座を9月～11月に行います。

以上が、文化会館の平成26年度の事業予定です。

<勝川委員長>

ありがとうございました。今回、文化会館の事業がすごくわかりやすく、私自身、興味のある講座がたくさんあると思いました。ベビーマッサージもすごく活発にされておられますね。

<下岡委員>

門真市が取り入れたのが10年前ぐらいになりますので私の方も10年以上やらせて頂いております。10年前からベビーマッサージは広がって来ています。門真市では市が取り入れてくれているのはすごいと思います。10年前に始めたのが寝屋川市で私は守口市に住んでいるのですが色々声をかけてこういう事をやっていますとお伝えしても中々皆さん公の施設の方は頭が固くて毎年同じものやっていますと言われてこういった計画書でも毎年毎年で同じなので2年たって次の子が生まれたお母さんは同じもののため来なかったり興味が無くなったと言うことをよく聞いていました。それでも門真市の方はすぐ取り入れてもらってとても感謝しています。最近は早くに働き出す方が多いので赤ちゃんが1歳になると働きだされますので、やっぱり赤ちゃんが小さいときにお母さんと出て地域の事を知ることはとても良い事だと思います。そうするとお友達が出来て相談しやすいというのもありますし、その年代に出ていないと、同じマンションに住んでいても中々会える友達も出来ませんし、そういう事でも門真市はすごく住みやすいと思います。

<宮本委員>

今の話を聞きましても、すごく門真市長が文化に力を入れていることが伝わってきます。悪い人があんまり門真市からでないなあと感じます。文化あふれる町ですね。

<勝川委員長>

この1つ1つの講座とかは募集や参加人数はいかがですか。たくさん来られてお断りするとか、少なくて大変とかありますか。

<淡路社会教育指導員>

人気のある講座はすぐに一杯になります。偏りがあります。

<勝川委員長>

パソコン教室はどうですか。

<淡路社会教育指導員>

すぐに一杯になります。往復はがきで申し込んでいただいてなるべく沢山の方に参加して頂けるようにしています。

<勝川委員長>

それは、うれしい悲鳴ですね。

<宮本委員>

パソコンにつきましては、今、市の広報で募集が出ていますが、あれとは別ですか。

<淡路社会教育指導員>

別です。市民プラザには良い設備がありますので、あそこも色々募集されています。公民館の「パソコン講座」は3月に広報に載せて4月中に受け付けて5月からスタートします。スキルアップの方は10月から始まるよう申し込んでいただいています。こちらは3回終了で500円と言う低価格で受講して頂いています。面白い事が出来るように先生に考えていただいています。

初めてする方でも3回の講座を受けていただいたら、はがきに文章が打って写真を貼り付けられます。年賀状や暑中見舞いが作成できます。

<勝川委員長>

二島分館がある時に教室の生徒さんがいないため、「受けてみませんか。」と言われて初めてパソコンを触りました。それが基本で、その時に自分のパソコンが無くて子どものパソコンで練習しました。2日間集中講座を受けました。今では、それが基本となっていますのでよかったと思っています。

<青木委員>

先程の募集定員の事で少し思ったのですが、実際募集定員で人気のある講座、人気のない講座が絶対あると思うのですが、それが、この資料ではわかりません。会社の売上げをあげる訳ではありませんが、地域コミュニケーションを増やすためにたくさんの方がなるべく全員参加して頂けるような形にする事が一番いい事だと思います。仮に少なかったら何をどうゆう風に、変えたら来てくれるのかと言う理由があって常に理想的な形に埋まっているのがベストだと思います。

<淡路社会教育指導員>

そうですね。例にだすと、「子供クッキング」と言うのは料理教室で、1つの教室にテーブルが4つしかないのです。最大で1つのテーブルに5人なので20人で、それについては、すぐに一杯になります。いままでの経験上、どうしても来館の申し込みになるので、働いている方は不利ですね。出来る限り、電話やハガキで申し込んでも受け付けられる形にしたい

と思っていますが、その辺が難しいといつも感じています。

<青木委員>

講座をうけて習熟度があがるあがらないとかよりもっと大事な事は、講座を受けて人とコミュニケーションを持つとか孤立しないとかそういう調和が出来る場所になる事が大事な事ではないかと思います。

<奥田委員>

募集する人数が多くないと思います。この中で、例えば、申込み参加される方が同じ方で、毎年来られていると言う事は、あるのですか。

<淡路社会教育指導員>

そうですね。よく来られる方は、申込みのノウハウを知っておられるので、早く来て並んでいたり、同じ方が早く来て申し込まれていると言う事は否めない所ですね。できる限り、広くしようと思うと抽選とか、そういう形になると思います。

<奥田委員>

できるだけ多く来て頂いて、一人でも多くの枠を取って頂いて、効果が出るようにして頂きたいですね。

<宮本委員>

1講座は8名となっていますね。8名というのは、何の講座ですか。

<淡路社会教育指導員>

パソコンです。初めての方を対象とすると、前で指導している先生と私が後ろにつくのですが、すぐに解らない時に手を挙げて来てもらわないと、パソコンと言うのは、解らなくなるのです。だから、8人位が限度だと思います。それと、パソコンも10台しかありません。4年前まで、WINDOWS98を使っていました。なかなか、買えないと言うのも理由であります。それで、市民プラザのパソコンが20台入れ替るという事で、文化会館と公民館に10台ずつ分けて貰ってやっと、VISTAになったんです。VISTAが古くなってきたのですが、今、VISTAを使ってやっていますが、色んな新しいパソコンが、財政的な事も、非常に難しいですけど、「新しいパソコンが使えたら、インターネットをやりたい。」と言われるのですが、市民プラザの方は、インターネットの設備があるのですが、「ここは、そういう設備がないので、インターネットはすいませんが、出来ません。」と言ってワードやエクセルを覚えて頂くというような事をやっております。

<勝川委員長>

先程、国際交流協会が休会という形でおしゃべりサロンが無くなるという事で寂しいかな

と思うのですが、広報かどまに国際交流協会に来ていた方が、「サークルを作りませんか。」と載っていましたが、それに関してはどうですか？

<淡路社会教育指導員>

国際交流協会の意思を受けついで、草の根の市民の方の国際交流の場として、これから発展して頂けたらいいかなと思います。

<勝川委員長>

最初に国際交流協会が発足したときの目的と、最近までやっていた国際交流は根本的に変わってきましたので、会員さんも減ってきていたと思うのですが、元々私達が入っていた時は、こういうものを作るのだからと各種団体が集められて寄付という形でやってきたところがあります。そのあたりが、継続していく事に無理があったのかなと思います。私もずっと活動させて頂きましてなくなるというのは寂しい所もあります。おしゃべりサロンを、毎月やっていらしたので、それを楽しみに毎月来られる方もいらっしやいますしね。全く無くなってしまうと、ちょっと何かの形で出来ないかなという気持ちもあるんですけどね。せっかく、日本語学級に来られる方も一緒に活動なさせて、大阪国際大学の学生さんも一緒にして頂いたり、民族フェスティバルの時も民族衣装を着て発表するのを楽しくやってくださったので、やっぱりそういう活動の場が無くなってしまうのは、また公民館と一緒に何かと言う形で努力して頂けたらとおもいますのでよろしくお願いします。

発足当時から私もずっと関わって来ていますので、そういう感じで1日寮生を預かったりだとかしていますので、子どもを通じて経験したり、子どもが通訳のお手伝いをさせて頂きまして、やっぱり色々繋がりがありますし、それが全く無くなってしまうのは、ちょっと寂しいです。他の市も活発にやっておられますので、門真市も何かの形で続けて行ければと願っておりますので、よろしくお願いします。その他社会教育や公民館・文化会館の活動につきまして、何かご質問とか、ご意見などございましたら、よろしくお願いします。

<安田委員>

私は、今、門真市の砂子小学校の児童クラブで働いています。中国の方がとても多くて最近子ども達がほとんどしゃべれるのですが、お母さんに話しが全く通じない方がいらっしやいまして、そのたびに学校の中国語の先生を呼んできてもらって、「私の言っている事を伝えてください。」と言いながら、やっているのですが、このような「日本語読み書き学級」があるのだったら、それを紹介するにも日本語で紹介できないし、本を見ても解らないし、中国語で書かれたような冊子を頂いたら、私は働いていますので、その冊子を配ったりできると思っています。子どものケンカとかでもどういう風に伝えていいかわかりません。いつも、中国語の先生がいらっしやらないので、いらっしやらない時に、とても困っているので、中国語で書かれた物があれば、ご紹介できると思っています。児童クラブも中国語の案内と日本語の案内と両方あって、中国の方には中国語を渡していますので、そういうものをお作り頂けたら違う方にも広まっていくのかなと思います。

<淡路社会教育指導員>

中国語と英語のパンフレットを作って市役所の窓口や学校の窓口にも置いてありますし、こちらにも置いてありますので、よかったらお持ち帰りください。

<勝川委員長>

砂子地区、脇田地区は、門真団地の方がたくさんおられますよね。春節祭やみなさんお祭りをされています。

<淡路社会教育指導員>

冊子はたくさんありますので、またコピーをしてお渡しします。

<勝川委員長>

中国人同士がしゃべっているのは、はたから見たらケンカしているみたいと聞いた事があります。

<安田委員>

それを止める言葉を覚えようと思います。

<勝川委員長>

砂子は桜祭りの時、みなさん参加して頂きました。

<西岡委員>

門真市は包括連携協定を結ばれているので、学生さんたちに上手く協力してもらって公民館の活動に参加してもらったらいいと思います。

<勝川委員長>

大阪国際大学の学生さんたちと協力して事業をなさっていますね。今日、打ち水をするんですが、その時学生さんも一緒に参加します。砂子の地区の夏祭りとかも毎年参加させてもらっています。

9月6日の「キラッと門真」で駅の清掃もボランティアでしています。市民大学でも発表されている学生さんもいらっしやいましたね。

<西岡委員>

色々なところがかかわりを持たせていただいているのですが、統括しているところがないのでわかりにくいです。

<柴田部長>

公民協働課が窓口になって、そこから紹介いただいて活用させていただくものと聞いています。我々としたら公民館以外でもサタスタという自学自習教室をやっていますが、そこもお願いしてやってもらったりしています。

<柏木委員>

10年前になるかと思うのですが、夏になったら盆おどりで河内音頭とかありますね。社会教育を通じて、その時は、通訳の方が3人でできて頂いて不自由せずにやったことがあります。今はそれはないのですか。

<勝川委員>

門真市の国際交流事業ですか。

<柏木委員>

はい。生涯学習センターでやっていたんです。3ヶ月くらい前から1週間に1回練習をやっていました。その時は、通訳の方とか団地関係の方が多かったです。その時は20人から30人くらいで、生涯学習センターでやっていました。

<柴田部長>

私の記憶で言いますと、昔、通訳派遣もやっておりました、その頃、各課からどんな事業か聞いて派遣登録者に行ってもらったんですけど、段々、需要が減ってきたので、廃止されたと聞いております。

<勝川委員長>

他に何か意見がありませんでしたら、事務局から連絡事項をお願いします。

<東田課長補佐>

はい。ありがとうございました。本日委員の皆様より頂きました貴重なご意見につきましては、運営に反映したいと考えております。本日は、ありがとうございました。なお、第2回の会議につきましては、案件と日程を調整させて頂きたいと考えていますので、よろしくをお願いします。事務局からは以上でございます。

<柴田部長>

付け加えさせていただきます。2回目は、冒頭に申しあげた通り色々な運営の仕方があると思いますので、もし、案を作りまして、ご審議頂く場合には、事前にお知らせして考えていただく機会を設けさせて頂きたいと存じます。その際はよろしくお願いたします。

<勝川委員長>

本日はありがとうございました。これからもよろしく申し上げます。ありがとうございました。